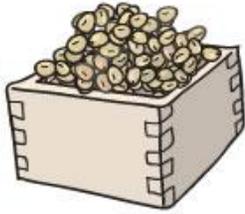


# 別子山公民館 平成23年2月号



## 「男の料理教室」実施



みなさん真剣です。!!



1月25日(火)、公民館において「男の料理教室」を開催いたしました。

普段は作るより、食べるばかりでの男性にお集まりいただき、作ることの楽しさを、皆さんで丁寧にご指導いただきました。

今回のメニューは、豆乳鍋とカブのレモンづけに挑戦しました。冬と言ったらやっぱり鍋ですから、寒い時期には本当にありがたい料理と言う事で、皆さんも慣れない包丁を手に悪戦苦闘しながら取り組みましたが、女性陣の御指導もありスムーズに進行いたしました。

さらに、先生からは給食の歴史等ご講義いただき、昔話に花を咲かせながら、おいしい鍋をいただきました。

みなさんご苦労様でした。



初めての豆乳鍋です。



## 高見知佳さん

## 読み語り会開催



1月20日(木)新居浜市出身のタレント、読み語りの「語り部」である高見知佳さんをお迎えし、いろいろと気持ちのこもった絵本を題材にして、読み語りを行っていただきました。

対象は、小中学生と言う事でしたが、一般の方も多数参加され、子供たちと一緒に語りの世界に引き込まれました。

中でも命や友情を題材とした語りでは、話す方も聞く方も一体となって、絵本に入り込み、気持ちが洗われるような不思議な感性をいただく事ができ、本当に心地の良い語りを聞かせて頂きました。



### 笑顔を訪ねて《第13回》

今回は、旧別子山村時代の村長さんを訪ねました。

御名前：和田秋広さん  
生年月日：大正14年1月3日  
(86歳)

長年に渡り、住友鉱山に勤務された後、旧別子山村長の要職に就かれ、4期に渡り務められました。

別子山村時代には地域の発展の為、素晴らしい手案を発揮され別子山を引っ張ってこられました。平成15年の新居浜市との合併とともに、要職を退かれましたが、地域に多大な貢献をされた方です。

現在は、夏は溪流釣り、冬はイノシシ猟、その合間には盆栽の手入など、本当にお元気で、毎日充実した生活を送られています。

これからも益々お元気で、別子山を見守ってください。

### 第51回新居浜市公民館研究大会

新居浜市における地域主導型公民館への移行は、本年4月1日より全館足並みを揃える。この機に当り『全国的な視点に立った公民館活動の流れ』について講演をいただき、それを参考にしてそれぞれの地域に密着した地域課題を解決する手法を研究し、今後の公民館活動に役立てる。

日時：平成23年2月19日（土）

午前9時20分～

場所：新居浜市市民文化センター 中ホール他

参加者：公民館職員、公民館運営審議会委員

社会教育・学校教育・公民館活動関係者

大会主題『 変わろう！公民館 』

サブテーマ ～地域と共に創る公民館をめざして～

### 「2010 差別をなくする市民の集い

～ハート FULL 新居浜～

この度、市民の一人ひとりの人権意識高揚を図り、人権問題に対する正しい認識を深めるため、次の通り開催いたします。

1 日時 平成23年2月11日（金）

13時00分開場 13時30分開演

2 場所 新居浜市市民文化センター 中ホール

3 内容 市民手づくりの人権啓発劇

第1部 「桃が実る」

第2部 「温泉へGO!」

4 入場料 無 料(入場整理券が必要です。尚、入場整理券は、公民館又は人権擁護課に置いてあります。)

問合せ先 新居浜市市民部人権擁護課

電話 65-1243 (直通)

### 平成23年度新居浜市消費生活モニター募集

賢い消費者となるために、環境問題、食の安全、悪質商法など仲間と一緒に学びましょう！

活動内容：消費生活に関する研修会、情報収集、物価調査、消費生活全般への提言など

応募資格：市内に居住している18歳以上の人（公務員、商品製造、販売者は除く）市の審議会の委員に属していない人

応募人数：20名程度

委嘱期間：(平成23年4月1日～平成25年3月31日)

募集締切：平成23年3月25日（金）

問合せ・申込先：消費生活センター 電話65-1253

## 移動『青い鳥号』運行のお知らせ

移動図書館「青い鳥号」が今月も、別子山地区にやってきます。

みなさん是非ご利用ください。

2月は、24日（木）に巡回します。

①別子山支所 10:20～11:10

②福祉センター 11:20～12:00

③別子小中学校 13:00～14:00

※本を借りる場合は、「図書館カード」が必要です。

※1人5冊まで借りる事ができます。

その他分からないことは、図書館員におたずねください。



新居浜市立別子銅山記念図書館

TEL 0897-32-1911

### 節分の由来について

そもそも節分とは何でしょう？

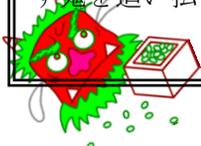
本来、節分は季節の分かれ目である「立春、立夏、立秋、立冬の前日」のことをいい、年に4回ありますが、これが室町時代あたりから立春の前日だけをさすようになりました。なぜなら、春を迎えることが新しい年を迎えることでもあったため、最も重要だったからです。

昔は、季節の分かれ目には邪気が入りやすいと考えられていました。中でも重要なのは、年の分かれ目です。旧暦では新年が春から始まるため、立春の前日の節分は、大晦日に相当する大切な節目だったのです。

古代中国では、大晦日に「追儺（ついな）」という邪気祓いの行事がありました。これは、桃の木で作った弓矢を射って、鬼を追い払う行事です。これが奈良時代に日本に伝わり、平安時代に宮中行事として取り入れられました。その行事のひとつ「豆打ち」の名残が「豆まき」で、江戸時代に庶民の間に広がりました。豆を「打つ」から「まく」に変わったのは、農民の豊作を願う気持ちを反映し、畑に豆をまくしぐさを表しているからです。

こうして、新年を幸多き年にするために、災いをもたらす鬼を追い払う節分行事が定着していきました。

鬼は外、福は内



今年の冬は、とっても寒いですね！

はかよしのねごと



雪の降り方が例年と比べ非常に激しいようです。

雪の多い年は、それなりに厳しいものですが、皆さんも除雪作業に御苦労なされた事でしょう。

また、1月と言えば寒さも本格的となり、コタツから離れられない日が多かったのではないのでしょうか、1年の内最も寒い時期と言われる大寒も過ぎ、これから徐々に春へと近づいてくるのではないのでしょうか。待ちどろしいですネエ。

さて、もう2月になり、あっという間に今年度も終わりに近づいていますが、いろいろな意味で、地域の新しい形が見え始めています。「地域の力」少なくなった地域の人口も、結集すれば大きな力になり、その力が新しい地域を生みだす。自然の流れの中で、地域が必要とする方向が見え始めているそんな気がいたします。

これからが、皆さんの力の見せ所です、それぞれの想いを力に変え、地域をよりよく変えて行こうじゃありませんか。

木々も徐々に芽吹きが季節が近づいております、また違った形で地域にも新しい芽が吹く、そんな期待が膨らみます。

春に向けて、寒さもまだまだ厳しいものがございますが、皆さん無理をせず身体には十分注意をしてお過ごしください。